



千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95-1.30 No. 4133

組織強化に向けて全力で闘う!

銚子支部才十五回定期大会 1/26

一月二十六日、銚子支部は第一五回定期大会を銚子市犬吠崎において開催した。

大会には、四〇名の組合員が結集し、成功裡に行なわれた。

大会は、議長に斎藤さんを選出し、進められた。

冒頭支部長あいさつに立った錦織支部長は、

① 関西における大地震よって大勢の方々が犠牲となった。この間労働千葉を支援して下さった方々も家を無くしたり負傷したりしている。関西の闘う皆さんに義援金カンパを送りたいのでご協力お願いしたい。② 組織強化のために、脱退者に対する説得オルグをあらゆる手段を尽くして行なう。③ 二〇二億円スト損倍取り下げに見られるように解雇撤回の闘いが焦点となっている。銚子支部で解雇となつてい三名の奪還を必ず勝ち取らなければならない。④ JR化されて八年、強制配転者の塩漬けを許さず、今年こそ職場復帰を勝ち取らなければならない。⑤ 四月組織内候補の水野・中江を落とす訳にはいかない。当選を必ず勝ち取る。とのべた。

続いて本部を代表して中野委員長のあいさつを受け、議事に入った。

質疑応答に入る前、議事の具交運総会から駆け付けた水野勝浦市議予定候補よりあいさつを受け、大会参加者は、勝浦市議選

勝利の決意を打ち固めていった。質疑では、

① 組織強化のため、脱退者に対する説得オルグを全組合員で行なうべきだ。② 派出検査の合理化によって泊出来る者が三名となつている。これでは年休もとれない。対策を。③ 入出区の場合の車掌スイッチの取り扱いを誰が責任を持つのかいい加減になつている。はっきりさせなければならぬ。④ 見習い運転士がまた二名来て銚子にそのまま配属になろうとしているが、強制配転者や転勤希望者を優先させるべきである。⑤ 銚子電鉄労組よりCDの販売要請があつた協力願いたい。

との質問・意見が出された。

質問・意見について支部・本部より答弁がなされ、運動方針案・予算案が満場の拍手によって採択された。

また、支部は、大会に続き新年の旗開きを行なつた。

旗開きには、現在休職に入っている組合員や退職となつたOB組合員も参加し、大盛況のうち開催された。また、旗開きの際に集めた関西への第一次集約としてカンパ五万円が本部に渡された。

銚子支部は、職場が、東労、鉄産労、国労の四つともえの中、労働千葉の旗を堂々とかけ本年も闘う決意である。

新役員体制

支部長	錦織芳雄
副支部長	越川幸夫
書記長	鈴木貴雅
執行委員	郡雅巳 涛川日出男 関根一美 志賀一夫 川越
会計監査員	鈴木政男 小林茂

第七回家族会総会に 集まろう!

家族会は、二月五日(日)、第七回総会を開催します。家族会は、分割・民営化の年である一九八七年一月に結成されて以来八年が経過しました。

この間、家族会は親組合とともにさまざまな闘いの場に参加するとともに、家族会独自の取り組みとして連続講座を十六回開催し、家族の交流・学習を行なってきました。

今年も、解雇撤回・清算事業団闘争勝利に向けた闘い、JRの反動的再編の攻撃、戦後五〇周年をめぐる情勢など、勝負の年となるようです。

多くの家族の方と交流し、意見を聞かせていただければ幸いです。ぜひ、多くの家族が参加されるようお願いいたします。

第七回家族会総会

とき 一九九五年二月五日
(日) 一三時より
ところ 千葉市社会センター

千葉市院内
1-15-3
TEL 043-222-3171

